E２本日の試合結果一覧

開催日 **2019/12/08**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号 160

試合番号 : 160	試合会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場	観客数 : 1,900
開始時間 : 15:15	終了時間 : 17:33	試合時間 : 02:18
主審 : 冨田　博一	副審 : 江下　毅	

チーム	通算	セット	第1セット	第2セット	第3セット	第4セット	第5セット
FC東京	2 勝 11 敗 ポイント : 5	3	20	25	25	20	15
ウルフドッグス名古屋	5 勝 8 敗 ポイント : 16	2	25	21	20	25	7

監督コメント（FC東京）

本日も熱い応援ありがとうございました。
今日も昨日に引き続き厳しい試合でしたが、スターティングメンバー、そしてリザーブのメンバー、チーム全員の力で難しい試合を勝ち切ることができました。
来週も難しい試合が続きますが引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。
今日の勝利はホームゲームの応援の力が大きかったと思います。この２日間ご尽力いただいた皆様本当にありがとうございました。

監督コメント（ウルフドッグス名古屋）

応援ありがとうございました。FC東京におめでとうと言いたい。
FC東京の方が我々より粘り強いバレーをし、勝利に値すると思います。
次週も厳しい戦いになりますが、応援よろしくお願いします。

要約レポート

何としてもホームゲームを勝利で飾りたいFC東京に対し、V・レギュラーラウンド上位を目指したいウルフドッグス名古屋の戦い。
第1セット、FC東京・手原は、プレモビッチを中心に攻撃を組み立てる。それに対しWD名古屋・内山は、白岩、椿山を使いFC東京に挑む。序盤からWD名古屋が主導権を握ると、最後は高松のアタックが決まり、セットを先取した。
第2セット、中盤まで一進一退を繰り返す。FC東京はスタートより手塚と栗山を起用すると、終盤に２人が連続ブロックをあげて、さらにプレモビッチのサービスエースが決まり、セットを取り返す。
第3セット、FC東京が手塚のサーブで流れに乗る。対するWD名古屋は流れを変えようと司令塔を内山から永露に代える。しかしFC東京は栗山のアタック、ブロックでリードすると、最後は手塚のアタックが決まりセットを連取した。
第4セット、FC東京は迫田・井上の攻撃でリードする。後がないWD名古屋は傳田のサービスエースを皮切りにガスパリーニ、高松のアタックで逆転し、最後はガスパリーニのサービスエースでファイナルセットに持ち込む。
第5セット、FC東京はスタートから迫田のサーブ、手塚・プレモビッチのブロックでリードすると、よく拾い、繋ぎ、栗山・井上のセンター陣が連続でアタックを決め勝利を手に入れた。特にプレモビッチが35得点と圧巻する試合だった。

試合番号 161

試合番号 : 161	試合会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場屋内球技場	観客数 : 2,250
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:06	試合時間 : 02:06
主審 : 村中　伸	副審 : 正岡　卓	

チーム	通算	セット	第1セット	第2セット	第3セット	第4セット	第5セット
パナソニックパンサーズ	12 勝 1 敗 ポイント : 35	3	20	25	25	22	15
東レアローズ	5 勝 8 敗 ポイント : 16	2	25	16	21	25	12

監督コメント（パナソニックパンサーズ）

非常に厳しい試合になったが、最後まで集中し、良く戦い抜いてくれた。
東レの粘りのあるプレーに苦しめられた。その粘りに負けず自チームの粘りをしっかり出し勝てたことは次につながる勝利だった。
本日もたくさんの応援ありがとうございました。来週のホームゲームでの試合もよろしくお願いします。

監督コメント（東レアローズ）

今日の試合は首位のパナソニックということで今持っている力をすべてぶつける気持ちでのぞみました。
チームとしては確実に成長してはいるが、勝負がかかった場面での精神的な部分がまだまだもの足りない。パナソニックとの差はここにあると思います。もっと精神的に強いチームになる必要がある。
ここ４戦中３戦がフルセットをかなり体力的に厳しい状況なので、しっかりコンディショニングを整えて来週に備えたいと思います。
本日はたくさんの応援ありがとうございました。

要約レポート

首位を走るパナソニックパンサーズ対昨日の勝利で勢いに乗りたい東レアローズの一戦。
第１セット、東レは星野のサーブから始まり戸嵜のアタック、星野のサービスエースと幸先よくスタートする。パナソニックも清水・久原・クビアクのアタックで得点を重ねる。中盤、東レは井手の好レシーブを、ルジェがトスをあげ、戸嵜がアタックを決めチームに勢いをつけると、富松・李・ルジェ・星野のアタックでリードを広げ、李のブロックで24-19としそのままセットを先取した。第２セット、序盤より、パナソニックは清水・久原・クビアクのアタックで終始リードし流れを取り返す。更にセッター深津の巧みなトス回しで清水・クビアクのアタック、山内・深津の連続ブロックで勢いそのままセットを取り返した。
第３セット、序盤から両チームは、強弱のあるアタックを粘りあるレシーブで攻撃につなぐ白熱した展開が終盤まで続く。拮抗した試合が動いたのはパナソニック清水の強烈なサーブから相手の攻撃を崩し山内のアタックで23-21にすると、途中交代した大竹のブロックが決まりそのままセットを取った。第４セット、後がない東レは、セッター藤井は戸嵜・ルジェ・李・星野にトスを配給し、多彩な攻撃をみせ、自らもブロックでチームの士気を鼓舞する。一方パナソニックもクビアク・山内・久原のアタック、清水の強烈なサーブで巻き返す。しかし東レは李のアタックで逃げ切り、勝敗は最終セットへもつれ込む。第５セット、互いに流れを掴もうと一歩も譲らず一進一退が続く。中盤パナソニックは深津のサービスエース、清水のブロックでリードする。東レも富松・李・ルジェのアタックで点差を詰めるが、勢いに乗ったパナソニックは山内の高いブロックが決まり追いすがる東レを振り切り勝利した。

試合番号 162

試合番号 : 162	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 2,700
開始時間 : 11:30	終了時間 : 12:43	試合時間 : 01:13
主審 : 服部　篤史	副審 : 高橋　宏明	

チーム	通算	セット	第1セット	第2セット	第3セット	第4セット	第5セット
JTサンダーズ広島	11 勝 2 敗 ポイント : 31	3	25	25	25		
大分三好ヴァイセアドラー	1 勝 11 敗 ポイント : 4	0	13	14	16		

監督コメント（JTサンダーズ広島）

素晴らしい試合だった。試合序盤から終始主導権を握り続ける事ができた。出場した全員が良い働きを見せた。
ファンの皆様ご声援ありがとうございました。

監督コメント（大分三好ヴァイセアドラー）

自チームのミスも多く、各セットともに同じような内容のゲームになってしまいました。この悔しさを、次週のホームゲームにぶつけていきたいと思います。
本日もご声援ありがとうございました。

要約レポート

2019-20Ｖ１リーグ、３位のJTサンダーズ広島と２勝目を狙う９位大分三好ヴァイセアドラーの対戦。
第１セット、大分三好はヤカンの強打やセッター藤岡のツーアタックなどで接戦に持ち込もうとするものの、JT広島は山本の強烈なサーブから流れをつかむと、一方的な試合展開となり、25ー13で先取した。
第２セットに入っても、JT広島の勢いは止まらず、序盤から連続得点で大きくリードを広げ、追いすがる大分三好を突き放し、25ー14でこのセットも連取した。
第３セット、出だしこそ大分三好のリードで始まったが、JT広島は慌てることなく序盤で逆転すると、確実に得点を重ね、大分三好につけ入る隙を与えずに25ー16でこのセットも取り、ストレートでこの試合に勝利した。
JT広島は序盤のリードを有効に生かし、選手交代しながらも安定したチーム力を見せた。

試合番号 163

試合番号 : 163	試合会場 : 松本市総合体育館	観客数 : 4,440
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:24	試合時間 : 01:24
主審 : 原　啓之	副審 : 岡谷　仁	

チーム	通算	セット	第1セット	第2セット	第3セット	第4セット	第5セット
VC長野トライデンツ	2 勝 10 敗 ポイント : 6	0	16	21	17		
ジェイテクトSTINGS	12 勝 1 敗 ポイント : 35	3	25	25	25		

監督コメント（VC長野トライデンツ）

今日のジェイテクト戦に向け準備してきましたが、結果が出せなくて残念でした。
パフォーマンスは出せたと思いますが、細かな部分の経験が足りなかったと思います。
次週に向けて準備をしたいです。
本日はたくさんの応援をありがとうございました。

監督コメント（ジェイテクトSTINGS）

ＶＣ長野の素晴らしいホームゲームの中でしたが、選手各々がいつも通りのプレーをしてくれたことで、終始スティングスのペースで試合を進めることができました。
また来週に向けて準備していきます。松本大会の２日間、たくさんの応援ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

要約レポート

ここまで11勝1敗と好調なジェイテクトSTINGSと、地元の声援を力に上位チームに挑んでいきたいVC長野トライデンツとの一戦。
第１セット、序盤こそ互角の展開であったが、地力に勝るジェイテクトが徐々に点差を広げる。VC長野はパトリックにボールを集め対抗したが、要所でブロックを決められ、ジェイテクトが25ー16で先取した。
第２セット、攻めのサーブで活路を見出したいVC長野は、ミスが目立ち最大６点差まで離されるが、中盤以降粘りを見せ４点差まで縮めるも25ー21でジェイテクトが押し切った。
第３セット、何とか接戦に持ち込む展開にしたいVC長野は、中盤まで池田がスパイクで踏ん張り、セカンドテクニカルタイムアウトまで３点差で追いすがった。しかし、ジェイテクトは終盤も落ち着いた試合運びでVC長野を振り切り、25ー17でこのセットも勝利し、勝ち星を積み上げた。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。